

## 伊豆市生活交通ネットワーク形成計画 推進事業について

## 1. 令和元年度 取組評価について

## (1) 施策進捗状況

| 計画における取組み内容【短期】                   |                   | R1 取組み  | 実施主体                          |
|-----------------------------------|-------------------|---|-------------------------------|
| 【事業1】<br>地域ごとの交通システムの再編・導入事業      | 地域内のフィーダー交通       | 中伊豆地区において実証運行を実施し、日中フィーダー運行及び地域の交通形態について検討した。                       | 地域住民<br>タクシー協会<br>バス事業者<br>行政 |
|                                   | 幹線路線の利便性向上        | 順天堂大学病院までの利便性向上及び自家用車から公共交通への転換を図る為、修善寺駅からの乗合タクシーの社会実験を実施し、導入を検討した。 | 南伊豆・西伊豆<br>地域活性化協議会           |
| 【事業2】<br>中心部における周遊交通の導入事業         | 中心部における運行ルート見直し   | 西海岸線利用者の利便性向上の為、H29年度に日赤・市役所経由へ変更した便について、チラシの配布や会議等で周知広報を行った。       | 東海バス<br>行政                    |
| 【事業3】<br>拠点における幹線への交通結節点の整備事業     | 交通結節点整備           | 天城北道路月ヶ瀬 IC 道の駅の交通結節点としての機能を検討した。                                   | 東海バス<br>行政                    |
| 【事業4】<br>利用しやすい公共交通・魅力向上事業        | 魅力                | バス事業者・学校が協働し乗り方教室を実施した。   | 地域住民<br>交通事業者<br>行政           |
|                                   | 分かりやすさ            | 方面別ナンバリング、修善寺駅デジタルサイネージ設置など、分かりやすさ及び情報提供の強化を実施した。                   | 交通事業者<br>行政                   |
|                                   | お得感の付与            | 広報誌・発券窓口だけでなく、地域で開催するイベントや訪問にていきいきパスや既存のお得なバスの周知を図った。               | 交通事業者<br>行政                   |
| 【事業5】<br>地域の公共交通維持に向けた協働の仕組みづくり事業 | 協力・利用意識<br>仕組みづくり | 地域内交通について、地区検討会議を開催し、実証運行の検証、導入の意見交換・検討した。                          | 地域住民<br>交通事業者<br>行政           |

## (2) 目標達成状況

目標 1 公共交通のサービス改善による人口カバー率の増加 現状 72.1% → 目標 75.0%

目標 2 市自主運行バスの利用者数の現状維持・増加 現状 36.3 万人 → 目標 37.5 万人

| 市自主運行<br>バス | 利用者数 (人/年) |         |         |         |         |         |        |
|-------------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
|             | H26(現状)    | H27     | H28     | H29     | H30     | R1      | R2(中間) |
| 17 系統       | 363,440    | 315,286 | 316,154 | 290,490 | 297,210 | 288,254 |        |

※R1 数値は確定前数値

目標 3 地域協働による公共交通改善や導入の取組の実施 現状なし → 目標 1 箇所以上

○湯ヶ島地区（天城湯ヶ島地区）、冷川、八岳地区（中伊豆地区）において実証運行を実施。

## 2. 令和2年度 事業計画について

### (1)伊豆市生活交通ネットワーク形成計画（伊豆市地域公共交通網形成計画）の取り組みの具体化・及び実施

計画における課題解決のための取り組みの実現に向け協議し、計画を作成及び実施する。ただし、新型コロナウイルスの影響により一部実施が出来ない可能性がある項目については、時勢に応じて検討する。

| 計画における取り組み内容【短期】                  |                 | R2 取り組み（案）   | 実施主体                          |
|-----------------------------------|-----------------|--|-------------------------------|
| 【事業1】<br>地域ごとの交通システムの再編・導入事業      | 地域内のフィーダー交通     | 日中フィーダー運行及び地域の交通形態について検討する。                          | 地域住民<br>タクシー協会<br>バス事業者<br>行政 |
|                                   | 幹線路線の利便性向上      | 新中学校の整備に向け、幹線路線の利便性を含めたルート及びダイヤの見直しについて検討する。         | 交通事業者<br>行政                   |
| 【事業2】<br>中心部における周遊交通の導入事業         | 中心部における運行ルート見直し | 西海岸線利用者の利便性向上の為、日赤・市役所経由へ変更した便について、周知広報を継続する。        |                               |
| 【事業3】<br>拠点における幹線への交通結節点の整備事業     | 交通結節点整備         | 天城北道路月ヶ瀬 IC 道の駅の交通結節点としての機能を検討する。                    | 交通事業者<br>行政                   |
| 【事業4】<br>利用しやすい公共交通・魅力向上事業        | 魅力              | 乗り方教室の実施。<br>バス待ち環境整備の検討。                            | 地域住民<br>交通事業者<br>行政           |
|                                   | 分かりやすさ          | 方面別ナンバリングの周知など、分かりやすさ及び情報提供の強化について検討する。              | 交通事業者<br>行政                   |
|                                   | お得感の付与          | 広報誌・発券窓口だけでなく、地域で開催するイベントや訪問にていきいきパスや既存のお得なバスの周知を図る。 | 交通事業者<br>行政                   |
|                                   | 協力・利用意識         | 地域内交通について、地区検討会議を開催し、実証運行の検証、導入の意見交換・検討を行う。          | 地域住民<br>交通事業者<br>行政           |
| 【事業5】<br>地域の公共交通維持に向けた協働の仕組みづくり事業 | 仕組みづくり          |  |                               |

### (2)伊豆市生活交通ネットワーク形成計画（伊豆市地域公共交通網形成計画）の中間評価及び見直しについて

今年度（令和2年度）は本来であればネットワーク形成計画の中間評価を実施し、計画の見直しを実施する予定でしたが、新型コロナウイルスにより公共交通が多大な影響を受けてしまい、今後の状況の見通しが立てにくく、計画の見直しが出来ない状況ではないため、今年度の計画の見直しは来年度に見送りとします。